

インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）チュウオウダイガク	フリガナ）ショウガクブ	フリガナ）ワタナベゼミ
中央大学	商学部	渡辺ゼミ

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）ハッピーン	フリガナ）フルタ ヒロアキ	5	無
はっぴーん	古田 大晃		

研究テーマ（発表タイトル）
企業組織におけるプレ・パフォーマンスルーティンの効果に関する実証的研究

※必ず＜企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

ビジネスにおけるプレ・パフォーマンスルーティンの有効性を示し、どのようにプレ・パフォーマンスルーティンが不安を抑制して作業が効率化しているのか、そのメカニズムを解明する。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

現代のビジネスパーソンは緊張を感じるストレス場面が多くある。

不安や緊張を感じると、仕事の効率は下がってしまう。

それに対処する方法はいくつか研究されているが、実際に活用している人が多くないのが現在の問題である。

3. 研究テーマの課題

スポーツ場面では緊張を抑制する方法として、プレ・パフォーマンスルーティンが挙げられるが、現段階ではビジネスパーソンにおけるプレ・パフォーマンスルーティンの有効性やメカニズムは実証されていない。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

企業組織においてプレ・パフォーマンスルーティンを導入する。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

ヒアリング調査、アンケート調査

6. 結果や今後の取り組み

サンプル数の拡大

過度な不安が PPR の先行要因になる可能性の検討

7. 参考文献

スライドの通りです

インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

＜企画シート作成上の注意＞

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、3 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。